



## ノードの管理

ASA r2

NetApp  
February 11, 2026

# 目次

ノードの管理 .....	1
ONTAPクラスタへのASA R2ノードの追加 .....	1
ASA R2ストレージシステムでノードをリブートする .....	1
ASA R2ストレージシステムでノードの名前を変更する .....	2

# ノードの管理

## ONTAPクラスタへのASA R2ノードの追加

ONTAP 9.16.1 以降、ASA r2 ストレージ システムはクラスタごとに最大 12 個のノードをサポートします。 HA ペアの新しいノードがケーブル接続され、電源がオンになった後、それらをクラスターに参加させる必要があります。

開始する前に

次の情報を収集します。

- ・ノードのIPアドレス
- ・クラスタ間ネットワークインターフェイスのIPアドレス
- ・クラスタ間ネットワークサブネットマスク
- ・クラスタ間ネットワークゲートウェイ
- ・オンボードキーマネージャ (OKM) を設定する場合は、OKMのパスフレーズが必要です。

手順

1. System Managerで、\*[クラスタ]>[概要]\*を選択します。
2. クラスタに追加するノードの横にあるを選択し $\vdots$ 、\*[ノードの追加]\*を選択します。
3. 各ノードのIPアドレスを入力します。
4. クラスタ間ネットワークインターフェイスのIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを入力します。
5. オンボードキーマネージャ (OKM) を設定する場合は、OKMのパスフレーズを入力します。

\*暗号化用にオンボードキーマネージャを設定\*がデフォルトで選択されています。

6. 「\* 追加」を選択します。

結果

新しいHAペアがクラスタに追加されます。

次の手順

新しいHAペアをクラスタに追加したら、新しいノードに追加できます["SANホストからのデータアクセスを実現"](#)。

## ASA R2ストレージシステムでノードをリブートする

メンテナンス、トラブルシューティング、ソフトウェアの更新、またはその他の管理上の理由で、ノードのリブートが必要になることがあります。ノードがリブートされると、HAパートナーが自動的にテイクオーバーを実行します。リブートされたノードがオンラインに戻ったあとに、パートナーノードで自動ギブバックが実行されます。

## 手順

1. System Managerで、\*[クラスタ]>[概要]\*を選択します。
2. リブートするノードの横にあるを選択し、\*[リブート]\*を選択します。
3. ノードをリブートする理由を入力して、\*[リブート]\*を選択します。

リブートに入力した理由は、システム監査ログに記録されます。

## 次の手順

ノードのリブート中は、データサービスが中断されないように、ノードのHAパートナーによってテイクオーバーが実行されます。リブートが完了すると、HAパートナーがギブバックを実行します。

## ASA R2ストレージシステムでノードの名前を変更する

ONTAPシステムマネージャを使用して、ASA R2システム上のノードの名前を変更できます。組織の命名規則やその他の管理上の理由で、ノードの名前を変更しなければならない場合があります。

## 手順

1. System Managerで、\*[クラスタ]>[概要]\*を選択します。
2. 名前を変更するノードの横にあるを選択し、\*[名前の変更]\*を選択します。
3. ノードの新しい名前を入力し、\*[名前の変更]\*を選択します。

## 結果

新しい名前がノードに適用されます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。